

第 3 章

第 2 次海津市地域福祉活動計画の基本理念 及び基本目標

1 基本理念

第1次海津市地域福祉活動計画では、海津市地域福祉計画と連携するために、すべての市民が“市民みんなで幸せな暮らしと豊かな地域社会を創る”の実現を基本理念とし、総合的なサービスの展開を図りました。

第2次海津市地域福祉活動計画においても、海津市地域福祉計画との連携・協働する基本姿勢を継続し、第1次海津市地域福祉活動計画の基本理念を継続していきます。

市民みんなで幸せな暮らしと豊かな地域社会を創る

「住み慣れたところで自分らしく安心して暮らすことができ、生き生きと日常生活を楽しむことができる。」これは誰もが抱く共通の願いです。

地域福祉活動は、そうした願いを実現するために、計画的にいろいろな事業や活動が進められ、多くの人々が努力されています。

しかし、福祉のニーズはますます増大し、複雑化・多様化しており、行政やサービス提供事業者のサービスだけでは十分応えられない部分もあります。地域に密着した、きめ細かな福祉活動を進めるためには、市民の自発的・積極的な参加による活動が重要になってきます。

市民の皆さんがこの基本理念を共有し、お互いに認めあい、つながりを深め、助けあい、支えあう「共に生きる地域社会」づくりをめざします。

2 基本目標と実施事業

第1次海津市地域福祉活動計画の評価を通じ、3つの基本目標(①地域福祉を推進する組織づくり、②安心して暮らせる地域づくり、③心豊かに支えあう人づくり)を掲げて第2次海津市地域福祉活動計画をすすめます。

また、基本目標ごとに目標を達成するための42の「実施事業」を設定し、それぞれの課題に対応していきます。